

Business Report 2019

2018年10月1日～2019年9月30日

トップインタビュー



代表取締役社長

西原一也

「インタートレード」を実現する 第二創業期に確かな手応え



「情報が自由かつ相互的に行き交うインターネット技術を使い、広域に対して様々な価値を安全かつ即時にトレーディングすることの実現」を目指して名付けました。

える新しい風が吹き始めた今こそ、「インタートレード」の実現に向け、大きく前進する時にきたと、その自信を深めています。

革新的な新技術の台頭が 金融サービスの常識を大きく変える

1999年の設立当時、インターネットが広く普及する中、金融サービスも一部インターネットと融合する動きがあり、インターネット証券のサービス立ち上げに関わりました。その後、「価格破壊」と「安定」の2つの軸を据えた証券トレーディングシステムの稼働に特化し、「金融ソリューション事業」として会社を急成長させることができました。それから、リーマンショックや証券取引所システムの高速化を経て、これまでのビジネスモデルが頭打ちになることを想定し、事業の多角化を決断、既存技術を活用した「ビジネスソリューション事業」、異業種となる「ヘルスケア事業」を立ち上げ、事業領域の拡大を進めてきました。そして革新的なブロックチェーン技術が台頭し、金融サービスの常識を大きく変

デジタルトランスフォーメーションにより 金融を含めたトレーディング業務の事業化へ

現在、2025年を大きな転換期とする日本が抱える課題解決に向けた取り組みを加速させていますが、いずれも大きな飛躍直前の局面にあると認識しています。

まず1つの課題は、経済産業省が「DXレポート」で、日本企業のITシステムにおけるデジタルトランスフォーメーション(DX)が進まなければ、2025年以降、最大年間12兆円の経済損失が生じる可能性があるとして警鐘を鳴らした「2025年の崖」の克服です。ホストコンピュータからオープン化、クラウド化へとITシステ

決算ハイライト

2019年9月期のポイント

- 金融ソリューションにおいて研究開発に注力し、既存の主力プロダクトの受注活動を計画通り推進できなかったことやライセンス数の減少による影響が大きく減収
- 『ITはなびらたけ』関連の商品やOEM、原料販売は堅調に推移
- 売上高の減少や新規事業への先行投資の影響により営業損失が拡大

売上高

1,791百万円

経常利益

△411百万円

営業利益

△413百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

△408百万円

ムが変遷する中、ステージごとにより使い勝手のよい方向にシステム内容も、提供されるサービスも変わってきました。これからのブロックチェーン時代は、5Gによる高速通信の普及と合わせ、さらにシステムが人の役務を代替し、完全自動化への流れが加速します。その過程で金融機関は新しいサービス形態を実現するためシステムベンダー化し、本来金融機関が提供する領域へ参入する動きが拡大し、統合の道を進むこととなりますが、これはまさにインターネットの価値がいよいよ金融業務全般の進展に繋がることを意味します。

当社はこの流れに従い、デジタル化に完全にリンクした新しいシステムを提供する準備を進めてきました。その1つがフィンテック分野における、ブロックチェーン技術を活用した金融サービスの事業化です。フィンテックとは、「金融とシステムの融合」を過去のものとし、金融自体がシステムとして自動化され、その技術・システムを金融外に応用・活用させるものと我々は捉えています。この新しいシステムを動かすためのインフラの役割を果たすべく開発を進めてきたのが金融商品取引向けトータルソリューションシステム『Spider』です。システムの領域は、いかに優れたものであっても概念だけでは評価されず、実物が実働し、実績となって初めて評価に至ります。そのため、まだ信頼を得ていない新しい技術・システムは、先行開発を進めると同時に、信用力の高いユーザーを見つける必要がありますが、『Spider』は、大手商社への導入も果たすなど、少しずつ実績を積み始めています。

子会社デジタルアセットマーケットツへの出資も順調に積みあがっており、『Spider』および当社への信頼と期待を勝ち得た結果だと捉えています。今後は、インタートレードが開発したシステムを用いて、デジタルアセットマーケットツが暗号資産関連サービスを構築・提供する形でビジネスを推進させていただきますが、その具現化に向け、非常に大きな一歩を踏み出したとの手応えを感じています。

ビジネスソリューション事業、ヘルスケア事業ともに2025年を見据えたアプローチの安定収益化が射程圏に

さらに、もう1つのデジタル化に完全リンクした新システムの提供として、「2025年の崖」で大きく危惧される、日本の事業会社の



基幹システムのレガシーシステム化への対応を進めています。2025年には21年以上稼働するシステムが全体の6割を占めると予測され、新システムへ刷新する必要が謳われています。しかしながら、技術の老朽化のみならず、個々の要求に応じたカスタマイズによるシステムの複雑化・肥大化、開発当時の技術者の不在等により、システムのブラックボックス化の問題を抱える企業が非常に多く、その切り替えはなかなか進捗していないのが現状です。

そこで、新システムに移行させずとも、既存システムを残したまま結合し、デジタル化へ繋げることで、経営統合管理プラットフォーム『G-MAN e2』への注目が高まり始めています。データを最大限活用するDX推進に欠かせないデジタル技術への適合を可能とすることから、迫りくるシステム移行の要請デッドラインを眼前に、今後、広くニーズを獲得する機会が拡大すると見込んでいます。このレガシーシステムのデジタル適合と新デジタルシステムが並行稼働する期間がしばらく続き、その後、融合の道を進むと予想されますが、現段階で両方に対応する製品を有する当社は、融合への道筋に向け、非常に高い優位性を確保していると自認しています。

そして、ヘルスケア事業として取り組んでいる挑戦がもう1つの2025年問題、超高齢化問題への対応です。2025年頃に団塊の世代が後期高齢者に達することにより、年金・介護・医療費など社会保障費の急増が懸念される中、課題解決の一助となる、健康寿命へのアプローチを進めています。サイレント型エストロ

ゲン活性を有する『ITはなびらたけ』は、成分同等も最終段階となり、臨床試験のフェーズへと進んでいます。

資本主義と民主主義の融合へ次代を創出する非常に大きなチャレンジに邁進

私たちは、先の時代に向け、日本が抱える問題に解決をもたらすために何をすべきか真剣に考えてビジネス創出に取り組んでいます。

日本固有の問題の他にも、世界も大きく動いており、イギリスのEU脱退に象徴される新たな民主主義の台頭はもっとも顕著な動きだと言えるでしょう。民主主義の代表とも言えるのがブロックチェーン等の新技術であり、金融と民主主義のコンソーシアムも含めて、それらが融合する新しい時代の経済圏に対するアプローチを行うことが必要な時代になってきます。私たちは、そうした世界情勢も踏まえ、『Spider』を軸として、新技術を純国産で開発し、皆様の金融資産を安全に分散保有できるサービスの構築を進めていきたいと考えています。

株主の皆様にはご心配をおかけする状況が続いていますが、非常に大きなチャレンジを続けているその志にご期待いただくとともに、これまでの実績をご信頼いただき、引き続き第二創業期を見守っていただけますようよろしくお願い申し上げます。

2020年9月期の業績見込みについて

2019年9月期は、新しいステージへと進むための先行投資が高み、創業期同様の産みの苦しみを味わった1年となりました。非常に大きなことに挑戦していますが、すでに私たちの想いは、絵に描いた餅ではないことが証明されつつあり、ここから本当に大きく動き出すことになると確信しています。

『Spider』の機能拡張と付加価値向上への先行投資の継続、子会社デジタルアセットマーケットツ立ち上げにおける開発もあり、2020年9月期も投資が先行する1年となりますが、『Spider』『G-MAN e2』ともに引き合いが加速しており、金融ソリューション事業、ビジネスソリューション事業ともに利益貢献が見込めるフェーズとなっています。また、ヘルスケア事業も当社が生産する『ITはなびらたけ』関連の商品やOEM、原料販売が堅調に拡大しており、機能性を説明するための成分同等の研究開発費への支出は継続する計画ですが、さらなる販売拡大の道筋も見えつつあり、2020年9月期の連結決算は増収、営業黒字での着地を見込んでいます。

今後は、インタートレードはシステム開発・提供という立ち位置でデジタルアセットマーケットツを支え、デジタルアセットマーケットツはそのシステムを使って日本の資産を守るサービスの実現を目指していく中で、来たる2025年に向け、西本と2人、補完関係を確立し、それぞれの役割を二人三脚で果たしながら、その間に次代を任せられるメンバーの育成も行っていきます。

足元では、第二創業期としての新たな一歩は踏み出せたと認識しています。長期にわたり当社をご支援いただいた株主様の期待に応えたいと常に思い続けており、これまで準備してきたことは、必ずや株主の皆様への期待に応えられるものであると確信しております。引き続きご支援いただきたくお願い申し上げます。



取締役
尾崎 孝博

Topics | 1

三井物産株式会社 当社子会社デジタルアセットマーケットツに出資

当社子会社の株式会社デジタルアセットマーケットツが、三井物産株式会社を引受先とする第三者割当増資に係る募集株式引受契約を締結しました。デジタルアセットマーケットツは、フィンテックを駆使して自ら新たな金融サービス・インフラを展開することを目指し、暗号資産・ブロックチェーン技術を通じた新しい価値創造を目指して事業を展開しています。今回の出資受け入れにより、デジタルアセットマーケットツは暗号資産関連事業において、事業拡大の加速を図ります。

Topics | 2

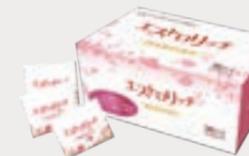
新スマホ投資サービス「LINE証券」に 金融商品取引向けトータルソリューション『Spider』を導入

LINE証券株式会社が提供する、「LINE」上で証券取引ができるスマホ投資サービス「LINE証券」に金融商品取引向けトータルソリューション『Spider』を導入しました。当社の長年のシステム提供、運用実績をご評価いただき、同社の自己ポジションの売買・管理業務を包括的にカバーするソリューションとして導入となりました。今後も、当社は『Spider』を軸として、「LINE証券」を始め、金融機関や事業会社のビジネス拡大に貢献してまいります。

Topics | 3

ITはなびらたけサプリメント『エストロリッチ』 ドラッグストア限定で販売

「ITはなびらたけ」にビタミンCをプラスした、更年期のゆらぎ期の女性のためのサプリメント『エストロリッチ』を全国の薬局・薬店で販売しています。ゆらぎ期の女性特有の症状緩和への効果が期待でき、変化する女性の美容と健康をサポートします。サツドラ・ツルハドラッグなど、全国5,000店舗にて販売しておりますので是非お試しください。



Topics | 4

「ITはなびらたけ」が様々な企業様と コラボレーション

プロラボホールディングス
インナービューティー（内面美容）をコンセプトに、エステティックサロンを展開するプロラボホールディングス社ブランドからITはなびらたけ配合の商品を販売しました。

新宿中村屋
カレー好きのイベント「LOVE INDIA」で、新宿中村屋がITはなびらたけを使って絶品本格カレーを販売しました。





株主優待のご案内

当社では、皆様の日頃からのご厚情に感謝するとともに、一人でも多くの株主様に商品をご体験いただきたいとの思いから、株主優待制度を導入しております。9月末時点の株主様に、当社子会社が運営している通販サイト『健康いいものonline』及び本社併設サロンでご利用できるクーポンコードをご提供しています。ぜひこの機会にお試しください。

対象商品

当社子会社の株式会社インタートレードヘルスケアが運営する『健康いいものonline』及び本社併設サロンにて取り扱う全ての商品（定期コース及び一部割引との併用不可）

優待特典

5,000円以上のお買い物につき1回ご利用できる2,000円の割引クーポンコードをお配りします。保有期間に応じて割引クーポンの数が変わります。詳細は下記の表をご参照ください。

継続保有期間3年未満	2,000円割引のクーポンコード×6枚
継続保有期間3年以上	2,000円割引のクーポンコード×12枚

※継続保有期間とは同じ株主番号にて保有されている期間を指します。

対象となる株主様

9月末現在100株以上保有の株主様が対象になります。

ご利用方法

株主会員登録を行っていただく必要がございます。ご登録後のお買い物時にカート内の所定の欄にクーポンコードをご入力いただくことでご利用ができます。また、本社併設サロンにてご利用いただく場合は、クーポンコードをご持参ください。詳細については当社ホームページの株主優待ページをご参照ください。

ご利用にあたっての注意事項

- ・クーポンコードは1回のご利用で1枚に限り有効です。
- ・優待特典は通販サイト『健康いいものonline』及び本社併設サロンに限り有効です。
- ・株主様の当社保有状況は株主番号で管理しております。所有株式を全て売却された場合や証券会社の貸株サービスをご利用される場合は、株主番号が変わり継続性が途切れる場合がございます。

株主の皆様のご疑問にお答えします!

Q 1回の買い物で複数のクーポンコードは利用できますか？

A お買いもの1回につき1枚のクーポンコードが使用可能となりますので、複数のご利用はできません。

Q 送料はかかりますか？

A お支払金額が8,000円以上の場合に送料無料でとなります。

Q 『健康いいものonline』に登録するのに、登録料はかかりますか？

A 登録は無料で行うことができます。年会費等もかかりません。

会社概要

(2019年9月30日現在)

商号	株式会社インタートレード		
設立	1999年1月25日		
本社所在地	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目17番21号 茅場町ファーストビル3階		
資本金	14億7,843万円		
従業員数	98名		

役員紹介

(2019年12月20日現在)

代表取締役社長	西本 一也	取締役(社外)	平石 智紀
取締役	尾崎 孝博	常勤監査役	川瀬 宏史
取締役	阿久津 智巳	監査役	東原 豊
取締役	内藤 敏裕	監査役	内田 久美子

株式の状況

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	26,712,000株
発行済株式総数	7,444,800株
1単元の株式の数	100株
株主数	6,192名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
西本一也	1,346,400	18.09
ジャパンインベストメントアドバイザー	644,000	8.70
インタートレード(自社株)	259,200	3.49
高島誠司	236,800	3.18
尾崎孝博	229,300	3.08

※比率の計算は小数第3位四捨五入

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年12月
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.itrade.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない理由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel: 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部